

小松宮彰仁 こまつのみや てるひと 皇族、陸軍軍人。弘化二年一月十六日京都生れ、
明治二十六年一月十六日没（八四六一九〇三）。幼名豊宮、初名嘉彰、純
仁、稱仁和寺宮、兵部卿宮、東伏見宮。號晚翠。伏見宮邦家の第八子、
仁孝^{いんかう}大皇の養子。王政復古で議定となり、軍務總督等歴任。明治二十
二在陸軍大將。白清戦役では征清大總督、二十一年元帥。三十五年イ
ギリス皇帝戴冠式に、天皇名代として参列。

著書 白清 戦争 名將文集・第一編（合著・菅原保久編著、明治二十二年
五月二十日愛知・管文社）刊。